

## 韓国

### マクロ経済動向と展望

韓国経済は引き続き停滞の様相を示している。第3四半期の製造業生産指数は第2四半期と同じ前年同期比2.9%増にとどまった。失業率も9月には季節調整値で3.5%となった。まもなく公表される第3四半期のGDP成長率も、前期比でマイナスを記録した第1、第2四半期に続き、低い水準にとどまることが予想される。

こうした中で輸出は増大しており、貿易収支の黒字も拡大している。内需が振るわない中、外需が経済の底支えをする構図となっている。

政府系シンクタンク、韓国開発研究院（KDI）は10月16日に経済予測を公表した。これによれば2003年の経済成長率は2.6%にとどまる。この予測値は7月公表の3.1%から、さらに下方修正されたものである。需要項目別に見ると、最終消費が0.3%とマイナスで、その内の民間消費が0.9%となっている。KDIはこの消費停滞の背景には、クレジットカード利用による破産など、家計信用の悪化があると分析している。また投資（固定資本形成）は3.0%にとどまり、さらにその内の設備投資は1.4%としている。このように今回の予測が民間需要の両輪である民間消費と設備投資をマイナスとしている点は、景気後退の厳しさを示しているといえる。

なお、2004年については、外需の伸びと民間消費の底打ちによって緩やかな回復を予測しており、成長率は年間4.8%まで回復するとしている。

### 国民投票問題と政局の混乱

盧武鉉大統領は10月13日に自らの信認を問う国民投票を、12月に実施することを表明し、韓国の政局は一気に緊迫化している。この直接のきっかけとなったのは、昨年の大統領選挙時に、盧大統領の側近である崔導述前大統領秘書官が、財閥SKグループから11億ウォン（約1億円）の資金を不正に受け取ったという疑惑である。就任時高かつ

た国民の支持率が、経済の停滞、イラク派兵問題などで大きく低下する中で、清廉さを売り物とする盧大統領にとってこの疑惑は大きな痛手となった。

また一方、大統領の与党であった新千年民主党では、盧大統領に近いグループと金大中前大統領直系のグループの間で対立が激化し、9月には親盧グループが離党し新党を結成するという事態が生じた。このため現在、大統領与党は国会において3分の1を下回る少数派となっている。そこで盧大統領としては、任期を4年残す時点で信任投票を行い、その後に内閣を刷新することによって、政治的求心力の回復を図ったものである。国民投票表明直後の世論調査では、政権不支持が多数である一方で、投票では信認とする有権者が多数を占めるという矛盾した結果が示されている。これは盧大統領の政治的狙いがある程度当たっていることを示したものだといえよう。

一方、SKグループ疑惑について検察の捜査が進められる中で、大統領選挙時に保守野党であるハンナラ党に対して、より巨額な資金の提供が行われていたことが明るみに出た。さらに同党に対しては他の企業グループからの不正献金の疑いも生じている。これによって不正献金疑惑の追及は、むしろ野党側にとって不利な材料を提供する可能性が出てきた。

こうした情勢の変化で、12月の国民投票の実施は流動的となっている。現時点で予定通り投票が行われた場合、大統領の信認はほぼ確実と予想される。しかし、その場合も国会において与党会派が少数であるという状況は変わらない。そのままでは行政側側の提出する法案、予算案等の審議において、安定的な国会運営は困難である。来年4月の国会議員選挙に向けて、政党の再々編に向けた動きが具体化することとなる。したがって当分の間、韓国の政局は安定を欠いたものとならざるを得ない。こうした政治的不安定性が、北朝鮮の核問題と並んで、韓国の経済運営にとって大きなマイナス要因となることは避けがたい。

（ERINA調査研究部研究主任 中島朋義）

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	02年10-12月	03年1-3月	4-6月	7-9月	7月	8月	9月
国内総生産（%）	6.7	10.9	9.3	3.1	6.3	2.0	0.4	0.7	-	-	-	-
最終消費支出（%）	9.8	9.4	6.7	4.2	6.2	0.7	1.3	1.2	-	-	-	-
固定資本形成（%）	21.2	3.7	11.4	1.8	4.8	6.5	1.9	1.7	-	-	-	-
製造業生産指数（%）	6.6	25.0	17.1	0.9	8.3	11.3	5.8	2.9	2.9	0.8	1.3	6.7
失業率（%）	6.8	6.3	4.1	3.7	3.1	3.0	3.1	3.4	3.5	3.6	3.5	3.5
貿易収支（百万USD＃）	41,627	28,371	16,872	13,492	14,180	3,865	1,226	5,697	7,156	1,568	2,373	3,216
輸出（百万USD＃）	132,313	143,686	172,268	150,439	162,471	45,308	43,045	46,071	48,073	15,446	15,412	17,215
輸入（百万USD＃）	93,282	119,752	160,481	141,098	152,126	42,262	44,207	41,689	42,956	14,851	13,512	14,593
為替レート（ウォン/USD＃）	1,399	1,190	1,131	1,291	1,251	1,221	1,201	1,209	1,175	1,182	1,178	1,166
生産者物価（%）	12.2	2.1	2.0	0.5	0.3	3.9	5.3	1.3	1.9	1.6	1.9	2.1
消費者物価（%）	7.5	0.8	2.3	4.1	2.7	3.3	4.1	3.3	3.2	3.2	3.0	3.3
株価指数（1980.1.4=100）	406	807	734	573	757	674	591	621	726	704	732	742

（注） 製造業生産指数、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、国内総生産、最終消費支出、固定資本形成は前期比伸び率  
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、失業率は季節調整値  
生産者物価、消費者物価は2000年基準  
貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース  
（出所）韓国銀行、国家統計庁他